

コロナ流行下での外来診療スタイル

小児科月一会
渡部礼二

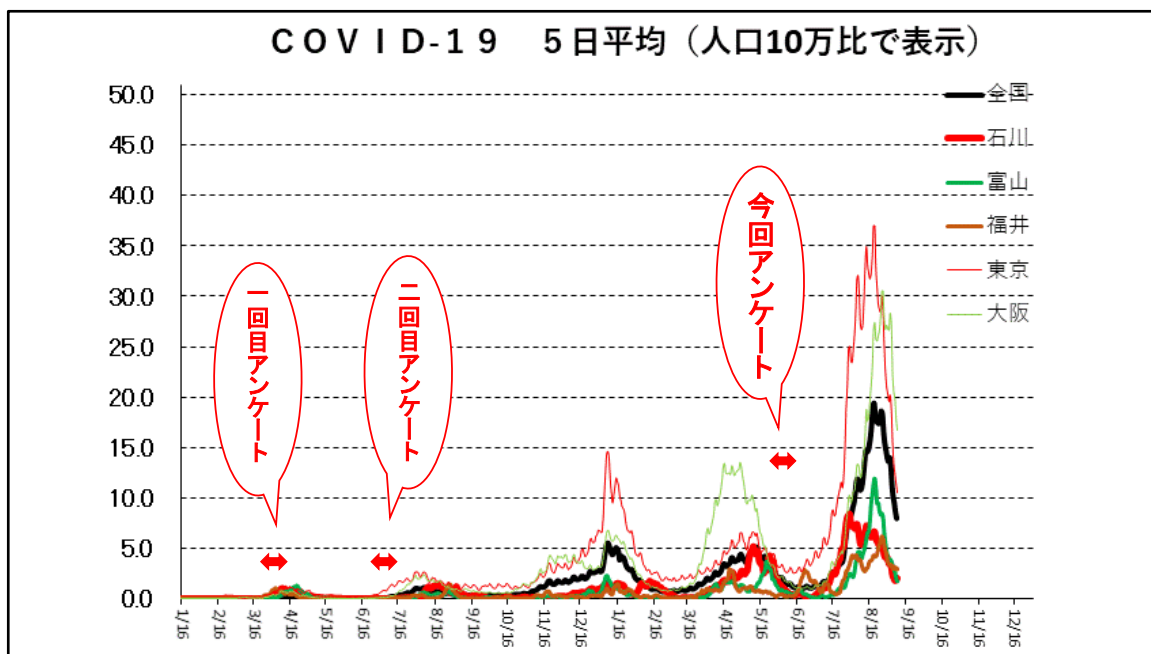
日本小児科医会

COI (Conflict Of Interest: 利益相反) 開示

発表者: 渡部 礼二

利益相反に関する開示事項はありません

令和3年9月12日



- 昨年の石川地方会で、新型コロナの感染PPE資材が不足している時と充足後の、小児科外来での診療スタイルについて…月一会でアンケートを実施し、報告しました。今回、第五波の前に同様なアンケートを実施したので報告します。皆さま御協力ありがとうございました。

1) 診療形態

☐ 総合病院

☐ 病院（大人も診療）

☐ 病院（子供だけ）

☐ 診療所（大人も診療）

☐ 診療所（子供だけ）

→ 病院

- ・医療機関の区分で病院を3つに分けて聞いたのですが、集計では病院はすべて一つにまとめました。

アンケート		回答数/医療機関	
診療形態	← 昨年 →		← 今年 →
	1 回目 (4/9-15)	2 回目 (6/29-7/15)	3 回目 (5/27-6/15)
○ 病院	19/25	16/25	11/25
○ 診療所 (大人も診療)	23/19	15/19	11/19
○ 診療所 (子供だけ)	19/29	18/29	19/29
	83.6%	67.1%	56.2%

- ・ 昨年は県内にある小児科外来の 7 - 8 割の回答率でありました。

			常時診療装備					発熱児診療時装備				
		n	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋
病院	1st	19	94.7	36.8	0	5.3	22.2	94.7	63.2	22.2	36.8	44.4
	2nd	16	100	62.5	8.3	8.3	23.1	100	92.9	50.0	66.7	76.9
診療所 (大人+子供)	1st	23	100	17.4	4.5	9.5	22.7	100	34.8	14.3	22.7	27.3
	2nd	15	100	53.9	10.0	10.0	36.4	100	80.0	36.4	41.7	53.9
診療所 (子供のみ)	1st	19	94.7	18.8	6.3	6.3	18.8	94.7	17.6	5.9	5.9	11.8
	2nd	18	100	23.5	0	5.9	5.9	100	35.3	0	11.8	0

1st:4/9～4/15 '20

2nd:6/29～7/15 '20

100%	>=75%	>=50%	>=25%	<25%
------	-------	-------	-------	------

- ・復習を兼ねて、このスライドだけ昨年の報告であります。

この大きなくくりは医療機関の区分で病院、大人も診ているクリニック
小児だけしか診ていないクリニック。

そのくくりの中で、狭い上段は資材がなかった一回目広い下段は資材が充足してきた第二波の前のアンケートであります。

この数(n)は回答医療機関数。

こちらの数は医療機関数に対する P P E の実行%で濃紺が100%空色が75%
以上緑色が50%以上橙色が25%以上赤色が25%未満で…濃い青の方が実施頻
度が高い事を表しており、比較しやすい様にしております。

無熱児の診察の時でもマスクだけは全体によく実施しています。

発熱児の診察時ではアイガードは病院では9割に実施していますが、ク
リニックはやや低く、子供だけの所は半分以下でありました。

ガウンや手袋の使用頻度は全体的に低い傾向にあり、また先程のアイガー
ドの時と同様にクリニック、子供だけのクリニックで低い傾向にありました。

アンケート			回答数/医療機関
診療形態	← 昨年 →		← 今年 →
	1 回目 (4/9-15)	2 回目 (6/29-7/15)	3 回目 (5/27-6/15)
○ 病院	19/25	16/25	11/25
○ 診療所 (大人も診療)	23/19	15/19	11/19
○ 診療所 (子供だけ)	19/29	18/29	19/29
	83.6%	67.1%	56.2%

- さて、これからが今回の本題であります。
 今年の6月の第5波の前の時です。
 全体で6割弱の回答率でした。

	n	検査引受	自院検査	検査否	発熱外来	診断	治療
病院	11	72.7	27.3	0.0	90.9	54.5	63.6
診療所(大人も)	11	27.3	54.5	18.2	45.5	54.5	0
診療所(子供だけ)	19	10.5	73.7	15.8	78.9	10.5	0

2021. 5. 27-6/15

100%
>=75%
>=50%
>=25%
<25%

・コロナの検査について

3/4の病院は紹介患者のものも、クリニックは自院のものだけを検査する傾向にありました。発熱外来を設けている所、6月段階でコロナを診断したことがある所、コロナの治療管理経験があった割合で…あります

	n	非接触型体温計		受付 ビニール	空気清浄機	オンライン	予約制
		スタンド	携帯				
病院	11	100	45.5	81.8	54.5	18.2	45.5
診療所(大人も)	11	36.4	72.7	100	90.9	9.1	36.4
診療所(子供だけ)	19	15.8	73.7	89.5	78.9	5.3	52.6

100%
>=75%
>=50%
>=25%
<25%

2021. 5. 27-6/15

- ・設備、装備に対する質問です。
 スタンド型の体温計はすべての病院で、クリニックは主に
 携帯型が多い傾向にありました。
 受付のビニールカーテン、
 病院は意外と空気清浄器の設置が少ない様です。
 オンライン化はまだまだ。
 予約制の割合です。

診察時のPPE

目的	医療従事者に罹患させないこと 院内での水平感染を予防すること
一般診療の患者の診察時	サージカルマスクの着用 ゴーグル(またはフェイスシールドなど)でアイガード 一人の患者の終了ごとに手指消毒
鼻汁や咽頭ぬぐい液の採取 COVID-19疑児診察 (発熱患児診察時)	サージカルマスク、 ゴーグル(またはフェイスシールドなど)、 長袖ガウン、 手袋を装着する。 処置の前後での手指消毒を忘れない

小児の外来診療におけるコロナウイルス感染症 2019 (COVID-19) 診療指針 第1版 2020.11.30
小児 COVID-19 合同学会ワーキンググループ

- ・コロナが流行してからは、大人での発熱外来等での感染防御指針ばかりで、子供に関しては昨年11月にやっと小児の3つの学会が合同で一般外来での指針を示しました。

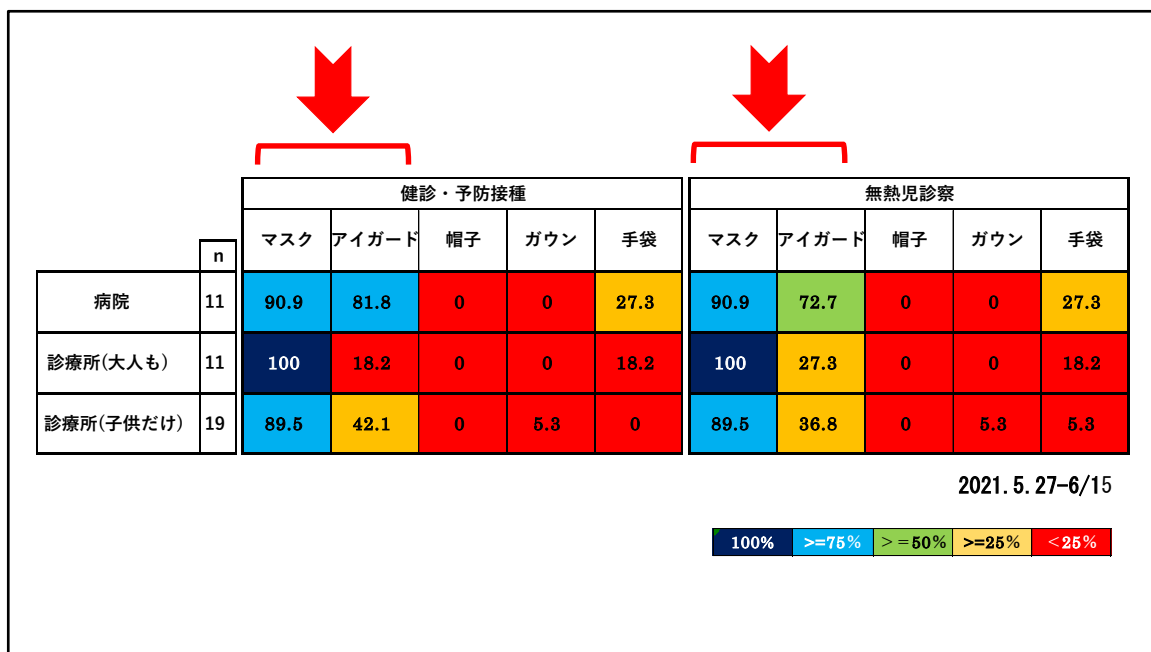
そこでは小児は無症候性の感染者の可能性を考慮し、健診や予防注射の時でもマスクとアイガード、そして診察毎の手指消毒を求めています。

また、発熱児の診察や検体採取の時は更に手袋とガウンの装着を求めています。

医療従事者の曝露のリスク評価と対応				
新型コロナウイルス感染症患者と接触したときの状況（注1）		曝露のリスク	健康観察（曝露後14日目まで）	無症状の医療従事者に対する就業制限
マスクを着用している新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注2)の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	PPEの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	低リスク	自己	なし
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし (体位変換などの広範囲の身体的接触があった場合は14日間)
	推奨されているPPEをすべて着用	低リスク	自己	なし
マスクを着用していない新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注2)の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	着用なし（注2）	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし（注2）	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし (体位変換やリハビリなどの広範囲の身体的接触があった場合は中リスクとして14日間)
	推奨されているPPEをすべて着用	低リスク	自己	なし (注3に該当する場合は中リスクとして14日)

医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第3版 日本環境感染学会

- ・ 診察時患児はマスクをはずすので、診察医師はアイガードをしていないと濃厚接触者になりますし、ひいては感染者になるかもしれません。



- ・ 予防注射や非発熱児の診察のPPEです。赤い矢印の所が指針で実施を推奨しているものです。マスクはどこも装着しているようですが、ゴーグルやフェイスシールドのアイガードはクリニックでは少ない様であります。

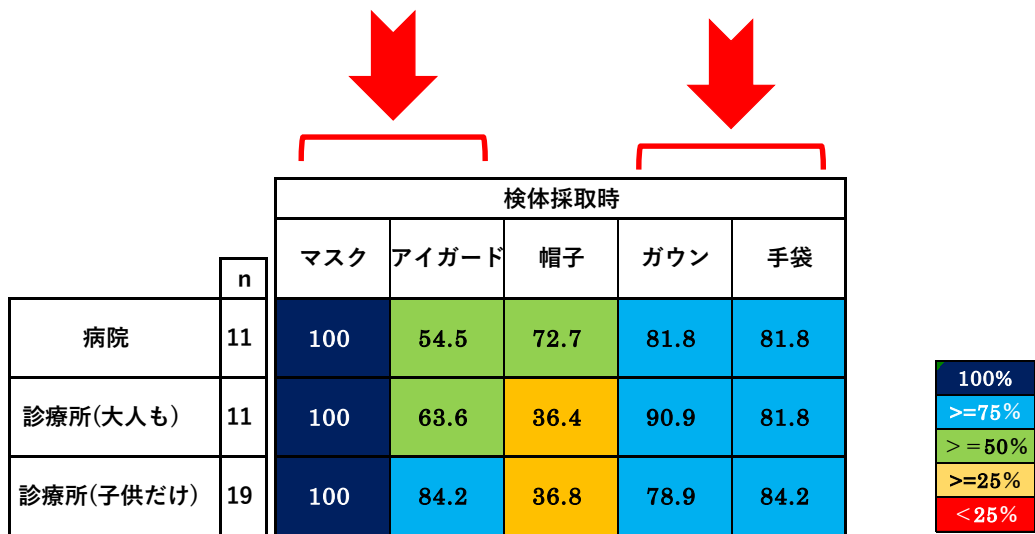


		有熱児診察					感染施設児診察				
	n	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋
病院	11	72.7	72.7	45.5	36.4	63.6	100	90.9	72.7	81.8	81.8
診療所(大人も)	11	100	72.7	18.2	9.1	36.4	81.8	54.5	18.2	27.3	63.6
診療所(子供だけ)	19	94.7	57.9	0	10.5	10.5	84.2	73.7	21.1	47.4	42.1

2021. 5. 27-6/15

100%	>=75%	>=50%	>=25%	<25%
------	-------	-------	-------	------

- ・有熱児の診察などではガウン、手袋の装着が悪い様です。特にクリニック、中でも子供だけのクリニックが悪い様であります。



2021. 5. 27-6/15

- 検体採取時はまあまあ行けているようです。

		一人診察毎交換					発熱児診察毎交換				
	n	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋
病院	11	9.1	9.1	18.2	27.3	72.7	36.4	27.3	18.2	27.3	54.5
診療所(大人も)	11	18.2	9.1	9.1	18.2	27.3	0	0	0	9.1	45.5
診療所(子供だけ)	19	5.3	0	5.3	10.5	21.1	5.3	5.3	5.3	10.5	10.5

		感染施設児診察毎交換					検体採取毎交換				
	n	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋	マスク	アイガード	帽子	ガウン	手袋
病院	11	54.5	36.4	45.5	54.5	72.7	36.4	45.5	45.5	54.5	63.6
診療所(大人も)	11	18.2	18.2	9.1	27.3	54.5	45.5	45.5	18.2	72.7	81.8
診療所(子供だけ)	19	21.1	26.3	10.5	26.3	31.6	31.6	36.8	31.6	57.9	63.2

2021. 5. 27-6/15 100% >=75% >=50% >=25% <25%

- ・ P P E の交換をどうしているかであります。
特に交換基準の記載はないようですが、一人の診察毎に交換している施設も実際あります。また G-Mis では発熱外来では一人毎交換を推奨するような意図がみえます。

待合室での工夫（自由記載）

- ・付き添い人数制限。
- ・時間的分離。
- ・車待機、1人ずつの呼び出し。
- ・床に線を引いて、空間的に分けている。
- ・発熱者と非発熱者の動線を入り口から完全に分けている。
- ・待合室では風邪症状のある患者を待たせない。
- ・待合室の人数制限。
- ・親にはマスク着用。
- ・乳児健診やワクチンは逆隔離。
- ・雑誌やおもちゃの撤去。
- ・空気清浄機 窓開放 換気扇 定時換気。
- ・待合室と受付の間はビニールシートでほぼ閉鎖。

・ここからは自由記載になります。

一部を紹介します。

待合室での水平感染防御の工夫です。

マスクの着用や車内待機、密にならないよう工夫されているようです。

診察室での工夫

- ・ 疾患児診察後ベット、椅子、机、咽頭鏡、耳鏡のアルコール消毒。
- ・ 疾患児診察後に聴診器、手指のアルコール消毒。
- ・ 有熱者は、陰圧室でFull PPEで対応。
- ・ 医師・看護師は常に防御眼鏡装着
- ・ 換気、空気清浄機、常に窓をあけている
- ・ 一人診察ごとに消毒、換気を徹底。
- ・ フルPPEが負担なこともあるが
子どもを怖がらせないためにも普段通りポロシャツでの診療スタイル

・ 診察室での工夫

一人診察毎の手指(しゅし)と器材の消毒と換気です。

子供が怖がるPPE装着をしなくてはいけないのか……と悩んでいる記入に共感させられますが、しないとダメなんですよね。

吸入時の工夫

- ・ 携帯型の吸入器使用。
- ・ 別室で対応。
- ・ 自家用車で吸入。
- ・ スタッフは、マスク、ゴーグル、手袋を装着。
- ・ 吸入器横に空気清浄機設置。
- ・ 天井～床までのビニールカーテンコーナー内（強力換気扇作動）で吸入。
- ・ 抗原検査陰性を確認して、吸入。
- ・ 吸入後、アルコール噴霧消毒。
- ・ 窓は全開。
- ・ 止めました。

- ・ 吸入時の工夫では
吸入場所の工夫とその空間の消毒
中には吸入自体やめた先生もおられました。

検体採取や処置時の工夫

- ・ 自家用車で検査、コロナ陰性を確かめて入室、診療
- ・ 個室を利用
- ・ 検体採取は屋外で実施、簡易テント内で行う
- ・ 天井～床までのビニールカーテンコーナー内(強力換気扇作動)で採取。
- ・ できるだけ鼻汁を検体としている
- ・ PCRは極力唾液で。
- ・ PPE着脱場所を決め、ペダル式ゴミ箱設置
- ・ 検体採取後はすぐに手洗い、換気
- ・ 医師・看護師は防御眼鏡・手袋使用 医師はガウン使用
- ・ 最近RSV検体取るときは手袋+ゴーグルで済ませてしまってます。
ガードが下がってるのが否めない。

- ・ 検体採取の時の工夫です。

その他

- ・ 有熱者は、診察前にPCR施行
- ・ 感冒症状のお子さんには先に抗原検査を抗原検査
- ・ オンライン導入によるコロナ専用問診
- ・ フェイスシールドは、使用ごとにアルコール
- ・ 支援金でPCR測定機購入
- ・ コロナを疑う時は全て脱ぎ捨てますが。単なる発熱時は脱ぎ捨てない
- ・ 家族の発熱の有無をカルテに記載。
- ・ 発熱患者は別扉から別室へ案内する
- ・ 玄関にセンサーを設置し、来院・帰院患者さん玄関と一緒に
ならないように配慮。

・ その他の工夫です

診察前にルチーンに検査してもらえる施設や、余裕ある空間、羨ましい医療環境の先生もおられます。

Take-Home Message

診察 常時 : マスク + アイガード

診察 疑時 } : グローブ + ガウン
検体採取時 }

一人毎 : 手指消毒

を忘れずに！

・ 結語です。

いつもは、サージカルマスクとアイガード！

病気の児と接する時はガウンとグローブを忘れない
！

以上であります。